

牛伏ドリームセンター事業経営戦略

令和3年度 ~ 令和12年度



令和3年3月

群馬県 高崎市

1. 事業概要

(1) 事業形態

設置の経緯と事業の内容	<p>平成5年3月に上信越自動車道が開通し、牛伏山周辺整備や既存施設の活用や整備などの観光施策の一環として、核家族化した親戚間の交流ができる保養センター構想が生まれ、隣接したクリーンセンターからの熱利用を行い、宿泊や日帰り入浴ができる施設として、平成5年8月に開設された。翌年4月には室内ゲートボール場も設置された。総事業費約13億9千万円のうち高齢化対策事業基金2億6千万円が活用され、福祉的要素も有している。開設以来、宿泊休憩施設として管理運営を行っている。</p> <p>なお、地方公営企業法には適用せず、特別会計を採用している。</p>
-------------	--

(2) 料金形態

料金の概要・考え方	<p>利用料金</p> <p>○宿泊料(1人あたり1泊2食付き) チェックイン午後3時から チェックアウト午前10時まで 市内住民等 大人6,600円 小人5,500円 市外 大人7,700円 小人6,600円</p> <p>○休憩料金 利用時間 午前10時～午後5時 市内住民等 大人410円 小人200円 市外 大人620円 小人310円 60歳以上の方、障がい者の方は小人料金</p> <p>○施設利用料金 3時間あたり 利用時間 午前10時～午後8時</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>休憩室(大)和室</td> <td>市内住民等</td> <td>3,140円</td> <td>市外</td> <td>4,710円</td> </tr> <tr> <td>休憩室(小)和室</td> <td>市内住民等</td> <td>2,090円</td> <td>市外</td> <td>3,140円</td> </tr> <tr> <td>大集会室 和室</td> <td>市内住民等</td> <td>10,400円</td> <td>市外</td> <td>15,700円</td> </tr> <tr> <td>談話室 和室</td> <td>市内住民等</td> <td>4,190円</td> <td>市外</td> <td>6,280円</td> </tr> <tr> <td>研修室 洋室</td> <td>市内住民等</td> <td>5,230円</td> <td>市外</td> <td>7,850円</td> </tr> <tr> <td>研修室 和室</td> <td>市内住民等</td> <td>4,190円</td> <td>市外</td> <td>6,280円</td> </tr> <tr> <td>屋内ゲートボール場</td> <td>市内住民等</td> <td>無料</td> <td>市外</td> <td>午前午後 各4,190円 夜間 5,230円</td> </tr> </table> <p>※・市内住民等とは、高崎市内に住所のある方。若しくは、高崎市に通勤、通学をされている方。 ・小人とは、3歳以上中学生以下の方。 ・消費税込みの料金</p>	休憩室(大)和室	市内住民等	3,140円	市外	4,710円	休憩室(小)和室	市内住民等	2,090円	市外	3,140円	大集会室 和室	市内住民等	10,400円	市外	15,700円	談話室 和室	市内住民等	4,190円	市外	6,280円	研修室 洋室	市内住民等	5,230円	市外	7,850円	研修室 和室	市内住民等	4,190円	市外	6,280円	屋内ゲートボール場	市内住民等	無料	市外	午前午後 各4,190円 夜間 5,230円
休憩室(大)和室	市内住民等	3,140円	市外	4,710円																																
休憩室(小)和室	市内住民等	2,090円	市外	3,140円																																
大集会室 和室	市内住民等	10,400円	市外	15,700円																																
談話室 和室	市内住民等	4,190円	市外	6,280円																																
研修室 洋室	市内住民等	5,230円	市外	7,850円																																
研修室 和室	市内住民等	4,190円	市外	6,280円																																
屋内ゲートボール場	市内住民等	無料	市外	午前午後 各4,190円 夜間 5,230円																																
料金改定年月日	令和元年10月1日																																			

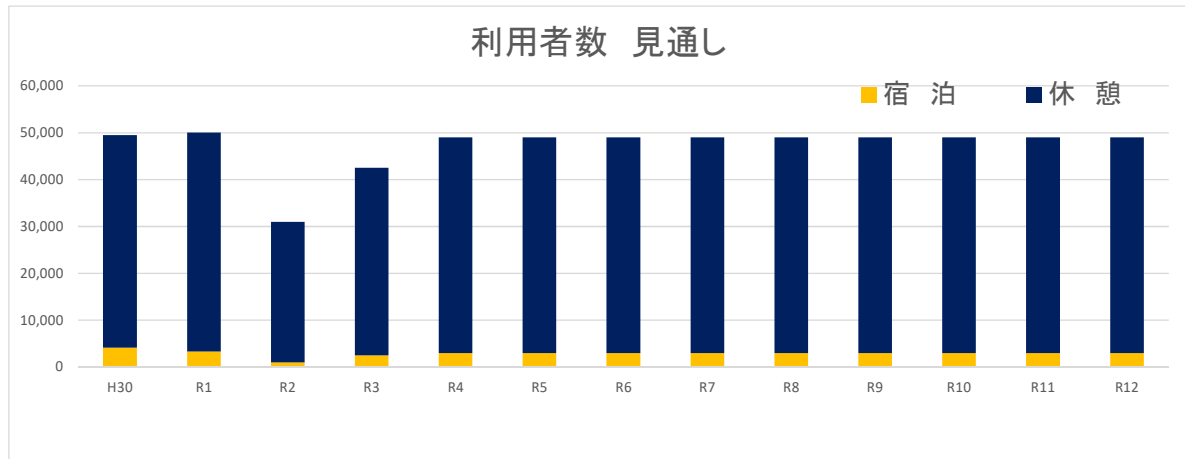
(3) 現在の経営状況

年間利用状況	H29	51,214人	H30	49,534人	R1	50,014人
経常収支比率	H29	110.9%	H30	101.8%	R1	99.5%
経費回収率	H29	61.0%	H30	54.5%	R1	47.5%
他会計補助金比率	H29	42.2%	H30	47.4%	R1	52.1%
有形固定資産減価償却率	H29	58.9%	H30	61.3%	R1	63.6%

2. 将来の事業環境

(1) 利用者数の見通し

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、著しく減少するものとみられる。4月からは外出の自粛があり、利用者数は前年に比べ大幅な減少を見込む。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残るが、宿泊客、休憩利用者ともに回復を見込む。令和4年度以降は、令和元年度並みの利用者数を見込む。

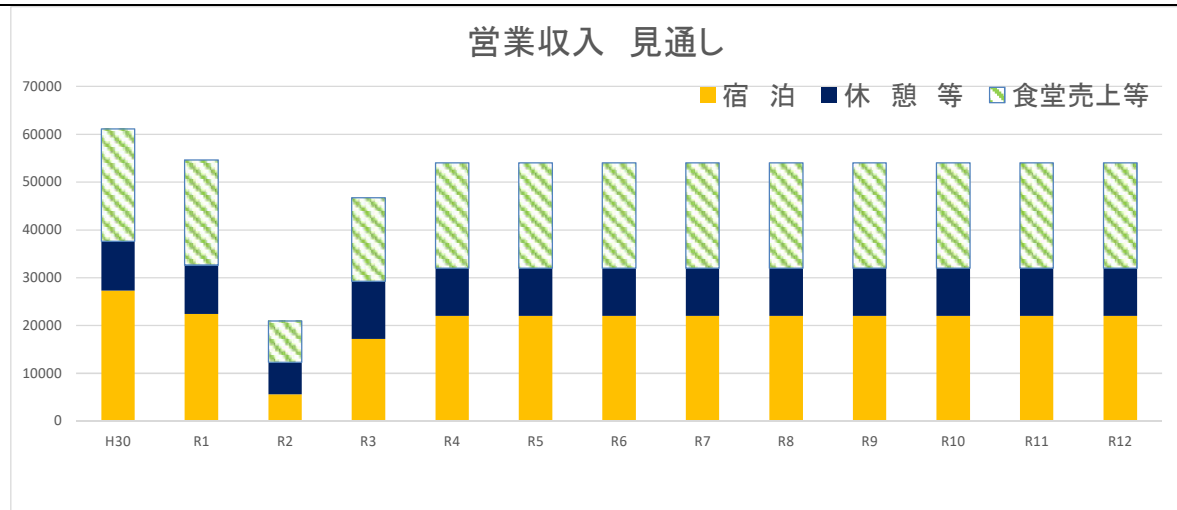


(単位:人)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
宿泊	4,094	3,366	1,000	2,500	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
休憩	45,440	46,648	30,000	40,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000	46,000
計	49,534	50,014	31,000	42,500	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000

(2) 営業収入の見通し

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月からは外出の自粛があり利用者が著しく減少するため、前年に比べ営業収入は大幅な減少を見込む。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響が残るが、宿泊客、休憩利用者ともに回復を見込む。令和4年度以降は、利用単価の高い宿泊客を積極的に誘客し、令和元年度並みの営業収入を見込む。



(単位:千円)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
宿泊	27,281	22,403	5,639	17,220	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
休憩等	10,360	10,249	6,683	12,026	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
食堂売上等	23,486	22,010	8,667	17,491	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000	22,000
計	61,127	54,662	20,989	46,737	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000

※ 休憩等: 休憩使用料、施設使用料、自動販売機使用料

食堂売上等: 食堂売上金、売店売上金、自動販売機売上金、カラオケ使用料、その他雑入

(3) 施設の見直し

平成5年の開館以来、施設及び設備機器の修繕を図りながら営業をしている。今後も現状を維持しながら営業を続けていく。

(4) 組織の見直し

令和2年4月1日現在、正規職員、嘱託職員、臨時職員の計22名で宿泊、休憩、食事の提供と施設の運営を行っている。引き続き、業務の効率化を図り組織の見直しを進めていく。

3. 経営の基本方針

本施設は、豊かな自然環境の中で市民の健全な心身の育成、福祉の向上及び余暇活動の促進を図ることを目的としている。施設の老朽化に伴う修繕費用の負担や、レジャーの多様化や少子高齢化などによる利用者の減少が見込まれるが、引き続き当初の目的を達成することを経営の基本方針とする。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	安全や衛生管理を確保するため、現状の施設及び設備を維持し随時整備を行う。
-----	--------------------------------------

・施設の維持管理のため、必要箇所の修繕を随時行う。
 ・館内空調設備、風呂給湯用ボイラーなどについては、引き続き定期点検を行い、必要に応じて更新する。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	団体利用の宿泊者増に努め、利用料金の維持・増加を図る。
-----	-----------------------------

・主な収入は、宿泊料や休憩料及び施設使用料などの利用料金となる。福祉的な側面もあり一般会計からの繰入金を見込む。
 ・利用料金収入を増やし、繰入金をできる限り抑制するため、企業やスポーツ団体など利用単価の高い宿泊利用者の誘客を図る。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

人件費、委託料など投資以外の経費について、業務の効率化を図り必要な人員を配置し経費の削減に努める。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 今後の投資についての考え方・検討状況

投資の適正化	既存の施設及び設備機器を有効活用する。
その他の取組	該当はありません。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

料 金	消費税の改正や経済状況に合わせ、料金の設定を検討する。
稼働率・利用者数	魅力あるプランなどを実施し、稼働率・利用者数の向上を図る。
繰入金	福祉の側面もあるため、一般会計からの繰入金を見込む。
その他の取組	該当はありません。

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委 託 料	維持管理委託に関しての頻度や方法など効率的な運用に努める。
管理運営費	随時見直しを行い、適切な管理に努める。
職員給与費	効率的な職員配置を行い、人件費の適正化に努める。
その他の取組	該当はありません。

5. 公営企業として実施する必要性

公営企業として実施する必要性	吉井地域の観光振興と、隣接するクリーンセンターの地元還元施設として市民福祉の向上や余暇の活用などの役割があり、地域の振興に大きく寄与している。
----------------	---

6. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	決算毎に経営状況を精査し、必要に応じて改定を行う。
---------------------	---------------------------

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		前々年度 (決算)	前年度 (決算)	本年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
収益的収入	1 総収入	114,270	114,603	100,985	113,957	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	
	(1) 営業収入	61,127	54,662	20,989	46,737	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	
	ア 料工受託収入	61,030	54,597	20,979	46,689	53,940	53,940	53,940	53,940	53,940	53,940	53,940	53,940	53,940	
	イ その他	97	65	10	48	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
	(2) 営業外収入	53,143	59,941	79,996	67,220	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	
	ア 他会計繰入金	53,143	59,941	79,996	67,220	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	
	イ その他														
	2 総費用	112,204	115,148	114,294	113,957	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	114,000	
	(1) 営業費用	109,779	113,200	112,167	111,936	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000	112,000	
	ア 職員給与	43,332	45,688	53,643	55,120	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000	
イ その他	66,447	67,512	58,524	56,816	57,000	57,000	57,000	57,000	57,000	57,000	57,000	57,000	57,000		
(2) 営業外費用	2,425	1,948	2,127	2,021	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
ア 支払利息															
うち一時借入金利息															
うち資本費平準化償分															
イ その他	2,425	1,948	2,127	2,021	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		
3 収支差引	(A)-(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)	(N)	(O)	(P)		
1 資本的収入															
(1) 地方債															
うち資本費平準化償															
(2) 他会計補助金															
(3) 他会計借入金															
(4) 固定資産売却代金															
(5) 国(都道府県)補助金															
(6) 工事負担金															
(7) その他															
2 資本的支出															
(1) 建設改良費															
うち職員給与															
(2) 地方債償還金															
うち資本費平準化償還金															
(3) 他会計借入金返還金															
(4) 他会計への繰出金															
(5) その他															
3 収支差引	(F)-(G)	(I)													

投資・財政計画
(収支計画)

(単位:千円, %)

区分	平成30年度 前々年度 (決算)	令和元年度 前年度 (決算)	令和2年度 本年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収支再差引	(J) 2,066	(E)+(I) △ 545	△ 13,309	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金	(K)												
前年度からの繰越金	(L) 11,789	13,855	13,310	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前年度繰上充用金	(M)												
形式収支	(J)-(K)+(L)-(M) (N) 13,855	13,310	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
翌年度へ繰り越すべき財源	(O)												
実質収支	(P) 13,855	13,310	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(N)-(O) 赤字	(Q)												
赤字比率	(Q) / (B)-(C) × 100												
収益的収支比率	(A) / (D)+(H) × 100	101.8	99.5	88.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地方財政法施行令第16条第1項により算定した資金不足額	(R)												
営業収益 - 受託工事収益	(B)-(C) (S) 61,127	54,662	20,989	46,737	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000
地方財政法による資金不足額の比率	((R)/(S) × 100) (T)												
健全化法施行令第16条により算定した資金不足額	(U)												
健全化法施行規則第6条に規定する解消可能資金不足額	(V)												
健全化法施行令第17条により算定した事業規模	(V)												
健全化法第22条により算定した資金不足比率	((T)/(V) × 100) (W)												
他会計借入金残高	(X)												
地方債残高	(X)												
○他会計繰入金													
区分	平成30年度 前々年度 (決算)	令和元年度 前年度 (決算)	令和2年度 本年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
収益的収支分	53,143	59,941	79,996	67,220	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金	53,143	59,941	79,996	67,220	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
資本的収支分													
うち基準内繰入金													
うち基準外繰入金													
合計	53,143	59,941	79,996	67,220	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000

(単位:千円)